

は〜とふる 日光

栗山地域の応援団

“おやじの力”で地域をイキイキ



＊ おやじの会 ＊

(布引の滝ハイキング)



おめでとうございます

平成29年度日光市男女共同
参画推進事業者表彰



女性の力で職場を改善

株式会社 サンコー



FKW(フューチャー・カナヤ・ウーマン)が活躍

金谷ホテル株式会社



業務改善でワークライフバランスを支援する

ヤックスフォト株式会社



地域に生きる おやじの会

栗山地域

おやじの会の活動について

発足から11年目。会員は約30人だが、会長はいない。作戦会議で担当者を決めているが、20人は集まる。いろんなプロがいるので、たいていのことはできてしまう。



どんと焼きの風景

地域を巻き込んでのどんと焼きは1月の恒例行事になっています。



流しそうめんの様子

流しそうめんの風景です。竹の準備から自分たちで行っています。



巨大かまくらを前に
重機で雪を集めて作った巨大なかまくらです。中にはベンチもあって快適に作られているとのこと。



キリンの書架

会員にプロがいるからできる本格的な作品です。地元の小学校で使われています。



栗山地域の「おやじの会」は、地区や世代の枠を超えて活動しています。その取り組みは半端なものではなく、その道のプロが指導者になって、活動を展開しています。時には地域のおばあちゃんたちを巻き込み、ある時は公民館活動と連携し、またある時は学校からの依頼にも快く応えるという、地域の応援団でもあります。今回は「おやじの会」の皆さんに男女共同参画への思いを本音でトークしていただきました。

「おとう飯」^{はん}(※)や「イキメン」といった最近の言葉について、どう思いますか。



栗山地域は、こういう言葉を意識しなくても、みんなが関わらないとやっていけない。

Q「おとう飯」について

おとう飯は男が食事を作らないことが前提の話だね。

今は低温調理器を使った肉料理に凝っている。

「自分の健康は自分で!!」という意識で料理している。

鹿を使った、様々なジビエ料理を作る。「また食べたい」と言ってもらえると嬉しい。

Q「イキメン」について

活動をしているから、じゃあイキメンと言われるのはちょっと…。

イメージを強引に当てはめてほしくないなあ。

将来に向けて、どのように活動をしていきたいですか。

子どもたちや地域に楽しんでもらいたいというのがあるが、自分たちも楽しみたい。

学校の先生方のできないことをやって欲しいと言われることも。応えてあげたい。

みんなの力が集まって栗山らしい事ができれば。



※「おとう飯」について

これまで料理をしていない、料理をしたことはあるものの作ることをやめてしまった男性に対し、家庭での料理参画への第一歩として、簡単でおいしい料理を作ることができるよう啓発する内閣府男女共同参画局が実施している運動のことです。

取材を終えての感想

おやじの会こそ、イキメンだなあ…。

おやじの会は「イキイキ」のイキメンなのかも知れません。

あなたの職場の取り組みを 教えてください

日光市では平成21年度から、積極的に男女共同参画を推進している事業者を表彰しています。昨年度表彰された3事業所にそれぞれの取り組みを伺いました。

株式会社 サンヨー様を訪ねました

Q 女性の活躍による会社の変化はありましたか。

A トラック運送業で男性ばかりの職場でした。女性視点の柔軟な発想や職場環境の改善を図ろうと、6年前に女性を採用しました。

女性は、責任感、使命感が強く、簡単に諦めることがありません。柔らかい空気も醸し出され、職場の雰囲気は大きく変わりました。

平成28年10月から人材部に女性の部長を配属しました。部長は、社員の状態を的確に判断しています。また、男性社員とは違った発想と企画力で、想像以上の結果を出してくれています。



(最前列左から4番目) 阿部光記 代表取締役



神山友恵さん 阿部光記 代表取締役
佐藤淳子 人材部部长

Q 具体的な女性の活躍について教えてください。

A 男性だけの会社は、未知の世界でしたが、入社以来「運送業のことを知ってもらいたい」、「女性でも活躍できる職場」だということを発信し続けてきました。

今年、栃木県トラック安全運転競技会で、当社のドライバーが女性部門で優勝しました。10月の全国大会に出場します。県大会前に男女5人の社員で練習を重ねてきました。男女が協力しあう中で、お互いに良い影響を与えていると思います。

金谷ホテル株式会社様を訪ねました

Q FKW(フューチャー・カナヤ・ウーマン)活動のきっかけは

A 活動は平成29年の春頃からです。きっかけは、女性活躍セミナーに参加し、職場での若い女性社員が感じる会社の問題点を出してほしいと5名でFKWを発足しました。当時の社長も大賛成で公認していただきました。

24時間の各セクションの勤務の中で全員が集まるのは難しいですが、各職場の問題点を出してもらって、女性目線での改善を会社に提案しています。



高橋美華さん 北村奉子さん
深谷カンナ 食堂部部长



Q FKWが発足してから変わったこと、良くなったことはありますか

A 管理職14名中2名が女性になり、女性ならではの視点でもの言えるようになりました。また、女性が活躍しやすいようにと、主任クラスも会社の公認を受けてセミナーや研修に参加できるようになりました。

働きやすい職場環境作りとして、育児しながら働けるようになりました。子どもの病気、怪我で呼ばれる事があっても、職場を越えて、サポートしてもらえるようになったからです。

Q これから取り組みたいこと

A 職場が忙しい土・日・年末に子どもをみてほしいのですが、そうした保育園などはありません。会社として託児所を作るにしても、多くの問題点があります。そのため、これからも情報収集に取り組んで行きたいと考えています。

FKWが現場で活躍してくれる人の意見・要望を会社につなぐ存在になればと思っています。

ヤックスフォト株式会社様に伺いました

Q 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を支援するために、どのような取り組みを行っていますか。

A 社員の意見を取り入れ、今までテーマパークの出入り口まで手作業で行っていた写真の運搬を無線通信で行うよう改善しています。

また、準備時間短縮のため近くに倉庫を設置するなど、社員の負担軽減と業務改善を行い、時間外削減とワークライフバランスを支援する取り組みに努めています。

Q 女性労働者の活躍促進に関しては、どのような取り組みを行っていますか。

A 従業員数が300人以下の民間事業主については努力義務とされている女性活躍促進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、正社員の女性採用人数を1名以上増加させるなどの目標に取り組んでいます。

受賞された3事業者の皆様



(右から2番目)ヤックスフォト株式会社 阿久津さん

《男女が共に働きやすい職場》を表彰します。

日光市では、次のような取り組みを行っている事業者を募集しています。

- ★女性の採用、登用及び職域拡大に取り組んでいる
 - ★男性が育児休業などを取りやすい環境づくりをしている
 - ★ノー残業デーの実施、特別休暇の充実、有給休暇取得促進の取組を積極的に行っている など
- 自薦他薦は問いません。応募方法は、市役所人権・男女共同参画課、子育て支援課、各行政センター等に設置、またはホームページに掲載している応募・推薦用紙に記入し、10月31日(水)までに人権・男女共同参画課に提出してください。

平成28年度からは、女性労働者の活躍促進に関する取組も対象になりました。ぜひ、ご応募、ご推薦ください。

【問い合わせ・提出先】日光市健康福祉部 人権・男女共同参画課 Tel 21-5148



【日光市からのお知らせ】

市では、男女共同参画の意識を啓発するため、下記のセミナーや講座を開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

● 日光市男女共同参画セミナー

栗山地域

演題：「困難を乗り越える勇気
～男女が協力して幸せな
人生を生きるには?～」
日時：平成30年10月1日(月)
13:30～15:30
場所：栗山行政センター3階
会議室(日光市日蔭575番地)
講師：日本アドラー心理学カウ
セリング協会
理事長 すずき 鈴木 みのる 稔氏



足尾地域

演題：「男女の生涯を通じた心身の
健康な生活」
日時：平成30年10月17日(水)
14:30～16:00
場所：銅やまなみ館(社会福祉協
議会足尾支所)2階 多目的
ホール(日光市足尾町赤沢3番23号)
講師：医療法人社団双愛会
足尾双愛病院
看護部長 こばやし 小林 よしえ 良江氏



日光地域

演題：「男女ともに、家庭や職場で
使えるストレス解消のコツ」
日時：平成30年11月15日(木)
13:30～15:30
場所：日光市交流促進センター
第1研修室
(日光市所野2854番地)
講師：NPO法人
栃木県カウセリング協会
理事長 まるやま たかし 丸山 隆氏



藤原地域

演題：「男女共同参画の視点で取り
組む防災」～避難所運営ゲ
ームを通して～
日時：平成30年12月10日(月)
13:30～15:30
場所：藤原行政センター2階会議室
(日光市鬼怒川温泉大原1406番地2)
講師：公益財団法人とちぎ男女共
同参画財団
芳村 よしむら 佳子氏 よしこ



● 女性の活躍応援プロジェクト

ワークライフバランスセミナー

演題：「笑って考えよう！
社会を救うワーク・ライフ・バランス」
日時：平成30年9月28日(金) 14:00～15:40
場所：大沢地区センター 会議室
(日光市大沢町809番地1)
講師：東京大学 大学院教授
せちやま 瀬地山 かく 角氏
備考：お子様、赤ちゃん連れ入場
大歓迎



キャリア・マネジメント講座

内容：第1回「ヒューマンスキル(対人関係力)向上研修」
第2回「強みを活かす戦略的キャリア研修」
日時：第1回：平成30年11月1日(木)
13:00～16:30
第2回：平成30年11月13日(火)
13:30～16:30
場所：日光商工会議所今市事務所
(日光市平ヶ崎200番地1)
講師：(株)あしぎん総合研究所
やない 野内 ひさこ 比佐子氏



※託児・手話通訳をご希望の方は、各回の2週間前までにお申し込みください。

問い合わせ

日光市健康福祉部 人権・男女共同参画課

電話：21-5148 FAX：21-5105 E-mail：jinken-danjo@city.nikko.lg.jp

日光市女性相談ほっとライン
TEL 0288-30-4140
電話相談受付時間 平日8:30～17:15
(休日・祝日・年末年始休業日を除く)

一人で悩まず、お気軽にお電話ください。
家庭や健康のこと、仕事のこと、
人間関係のことなど
いろいろな相談に応じます。



編集 後記

今回の「はーとふる日光」では、表彰された事業所様と「イクメン」として活躍されている「おやじの会」の皆様取材をさせていただきました。取材の中では男女間での言葉の受け取り方の違い、パートナーとのやりとりのコツなどの話しも聞くことができ、今後の記事に活かせそうなヒントもいただきました。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

【取材・編集】 齋藤はるみ 松本 祐子 大野ひとみ 大吉 智子 中村 信男 八木澤義彦